

2023 年度

《小規模多機能型居宅介護 サービス評価》

さくらまち

事業所自己評価・・・・・・・・・・(事-③④⑧)

総括表

令和6年3月29日

小規模多機能型居宅介護 さくらまち

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月8日（17:30～18:30）

3. 日常生活の支援

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	2人	7人	0人	9人

前回の改善計画

バイタル帳に記入欄を設け、日々気付いたこと、つぶやき、しぐさを記入していく

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・家族からの伝達事項は記入できた。
- ・口頭では他の職員にも伝えたが、「後で記入・・・」と忘れてしまうことが多々あった。
- ・状況も分かるように、本人のその時の様子や言葉を記入する容易に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	1	6	2	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1	8	0	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	7	2	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1	8	0	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	0	8	1	0	9

できている点

- ・毎朝のミーティングで体調の変化、本人の気持ちを職員同士が共有し、相談し関わっている。
- ・食事は利用者さんの様子に応じて、器、座る席など職員同士で検討し結果を見て次の対応に生かしている。
- ・言葉に出来ない方には、表情や体の傾きなど変化を見て、対応を職員同士で相談し、実施している。
- ・入浴介助方法や福祉用具の使用など考え実施している。
- ・一日の職員のスケジュールも利用者さんの様子に合わせて変更している。

できていない点

- ・以前の暮らし方10個を把握できていない。
- ・変化には気づくが、どうしたら良いのか判断が出来ない（迷う）

次回までの具体的な改善計画

利用者さん誕生月に、生活相談員、計画作成担当者が以前の暮らし方を聞き取りし、職員会で発表する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月8日（17:30～18:30）

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	8人	1人	0人	9人

前回の改善計画
家族に困った事はないか、これからも声をかけていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・訪問時、送迎時、電話（LINE・メール）、連絡帳で本人、家族に聞くようにしている。・ゆっくり話をしたいときもあったが、次の事を考えると手短になってしまう時もあった。・家族にさくらまちでの様子を伝え、情報の共有に努めた。・家族（介護者）に出来る事はお願いしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	4	4	1	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	8	2	0	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	2	7	0	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	1	6	2	9

できている点
<ul style="list-style-type: none">・家族が「できる」と言ってくれることはお願いしている。・今まで繋がりがあった地域の美容院など関係が続けられるようにしている。・地域の資源を意識し活用している。・送迎時、車中にて会話をすることで、様子が把握できている。・個人ファイルや、来所時の様子を見て人間関係、生活スタイルを理解するように努めている。

できていない点
<ul style="list-style-type: none">・民生委員が変わってから、担当を確認出来ていない方がいる。・さくらまちに来ていない時の過ごし方が分からない。・本人の生活歴等の把握が出来て無く、知らないことが多々ある。（これまでの人間関係など）・地域の資源が把握できていない。

次回までの具体的な改善計画
利用者さんの在宅の日の過ごし方について、生活相談員、計画作成担当者が聴き取りをし、職員会で発表する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月8日 (17:30~18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	4人	1人	9人

前回の改善計画
今後も法人と相談していく
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・利用者さんの対応について相談した。・なかなか相談できない。・相談するよう努めている。・研修に参加させてもらうよう、声掛けをさせてもらっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	8	0	0	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	4	2	1	9
③	地域連絡会に参加していますか	2	0	4	3	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	8	0	0	9

できている点
<ul style="list-style-type: none">・研修参加 (Zoom 含)、資格習得、連絡会への参加等、時間が許す限り積極的に参加している。・転倒、怪我や誤嚥など未然に防げるよう介助方法の検討、相談を職員同士行っている。・不安や心配なことがあると家族や職員同士で相談している。・介護経験に合わせた研修に参加している。

できていない点
<ul style="list-style-type: none">・ヒヤリハットなどあった場合、その場の職員同士は者な試合がされるが、周知できていない場合がある。・事業者連絡会など、決まった人が参加している。・リスクについて何度も家人に報告、相談をするが、成果が得られないケースもある。・自分から研修に参加していない。

次回までの具体的な改善計画
研修には進んで参加する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表（令和5年度）

法人名	特定非営利活動法人 おいなんよ	代表者	佐藤 敏子	法人・ 事業所 の特徴	酷暑・酷寒を痛感する一年でした。利用者さんはいつもと変わらず過ごされ、口から食べ、自然のお通じが出来るように、家族・医療・職員で情報共有しながら、”いつもと同じ“を大切に大好きな家で過ごして頂くよう、家族・職員同士が知恵を出し合い、工夫をしているさくらまちです。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 さくらまち	管理者	櫻井 弘子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	9人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	3：日常生活の支援 4：地域での暮らしの支援 8：質を向上するための取組み 3項目取組む	3項目に絞ったことで、日常の業務をしながらも取組み、全職員で評価・確認が出来た。	今年初めて外部評価に参加された運営推進委員の方々からは、まだ良く分からないという意見が聞かれました。	1：初期支援 5：多様性のある柔軟な支援 9：人権・プライバシーの3項目について取組む
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所内を見ていただく計画をたてる。 事業所の昼食を食べていただく機会を計画する	コロナで事業所を見ていただくことは出来なかったが、利用者様と同じ食事を食べる場を設けて、感想をいただくことが出来た。	食事を食べて、こんなに手の込んだ、美味しい料理を提供されていることが分かって、驚いた。地産地消で素晴らしい。	事業所内を見ていただく 事業所の食事を食べてもらう
C. 事業所と地域のかかわり	引き続き地域の行事には職員が順番に参加する 異動があった時は、職員から名前を伝える	地域の清掃活動や、祭事、総会等の行事に職員が順番に参加できた。異動があった職員は、自分から挨拶を行った。	地域行事にいつも参加して下さい助かります。行き会うといつも、笑顔で挨拶して下さいます。	地域の行事には、職員（利用者さん）が順番で参加する 職員から挨拶をする
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ランチを継続し、地域の方の情報収集に取り組む 個別に地域に出掛け四季を楽しむ	蔵にてランチを継続し、地域交流を継続してきた。また、個別に外出して楽しむことも出来た。地域の困りごとを相談して下さいする機会が増え、相談にのれた。	「あそこの〇〇さん、困っているようだから相談にのってあげてほしい」「〇〇さん入院したみたい大丈夫かなあ」など地域の心配事を相談して下さいする	ランチの継続をしつつ、新しいお仲間を広げていく 車椅子利用の方が多いが一緒に地域に出向く
E. 運営推進会議を活かした取組み	1年間の様子動画にして見ていただく 事例検討の実施をし、助言をいただく	1年間の活動を、事例発表や動画で見ていただくことで、さくらまちの活動を理解していただけた。	動画を見なければ、どんな活動をしているか分からなかった。利用者様の表情を見ていると、活動の良さが分かります。	1年間の様子を動画にまとめ、見ていただく 事例発表をし、ご意見助言を頂く
F. 事業所の防災・災害対策	地域の防災訓練に参加する BCP（災害編）の見直しをし、運営推進委員に配布する	地域の防災訓練に参加した。 BCP（災害編）の見直しを配布した。	免許センターが出来ると、周辺事情も変わってくるので、また話し合いの場が必要だと思う。	地域の防災訓練に参加する 避難訓練で、発動機の扱いの体験をして頂く

